

研究タイトル:

比較史的方法による、東アジア都城史研究



氏名: 久保田和男 / KUBOTA Kazuo E-mail: kubotakz@nagano-nct.ac.jp

職名: 教授 学位: 博士(文学)

所属学会・協会: 宋代史研究会 近世比較都城史研究会 東洋史研究会

キーワード: 宋代史 五代史 都城 開封 臨安 中都

技術相談
提供可能技術:
・アジア史・中国史概説書・通史、事典などへの執筆、引用
・中国都城模型・CGの作成への資料提供

研究内容: 比較史的方法による、東アジア都城史研究

(概要)ミクロ政治学の政治空間論と、比較都城史論を方法論として融合し、唐宋間の推移だけでなく、近世初期の東アジア各都城の比較検討を行い、新しい都城史を構築してゆきたい。まず、都城空間を、物理的な空間としてだけでなく、意識によって形成された政治空間として分析する。

(従来の研究との比較)従来の都城史研究は、個別の都城ごとに研究が進められてきたが、本研究の視点のように、複眼的に、比較検討する事で、東アジア都城史研究に新しい光を当てることが出来る。具体的歴史的事象に、隠されていた意味を発見することが可能である。

(本研究の有用性)前近代中国では皇帝・官僚・庶民の様々なレベルのコミュニケーションの場として政治空間が形成される。このようにして得られる都城空間理解を相互比較した場合、当該時代の社会関係や政治文化の差違が浮き彫りになり、より多面的な都城史理解を得ることが可能である。



『『清明上河図』と徽宗の時代』勉誠出版 2012の2つの章を執筆。

「メディアとしての都城空間と張挾端『清明上河図』—五代北宋における政治文化の変遷のなかで」、pp.50-81

「開封復元図（徽宗時代）と『清明上河図』」 pp.232-236

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	